



第412回みそか寄席

令和8年

とき **7月31日(金)**

第1部：午後4時00分～

第2部：午後7時00分～

ところ **おかげ横丁すし久**

七月

みそか寄席

大喜利

林家正雀

真景累ヶ淵〜お累の婚礼

桂文枝

天狗さし

桂文五郎

兵庫船

一部午後四時〜

大喜利

林家正雀

真景累ヶ淵〜お賤と新吉

桂文枝

箒屋娘

桂文五郎

道具屋

二部午後七時〜

木戸銭 / 前売券 2,500円 当日券 3,000円

会場受付は、1部2部共に開演30分前より開始いたします。

予約受付 / おかげ横丁おみやげや (総合案内)

TEL 0596-23-8838

木戸銭は開催当日の会場受付にて頂戴いたします。

お問合せ / (株)伊勢福 催事運営部

TEL 0596-23-8827



おかげ横丁HP

前売販売 / ・チケットぴあ

・イオン伊勢店、イオン明和店 サービスカウンター

主催 / 株式会社 伊勢福 後援 / 伊勢市、伊勢市教育委員会

※会の性質上、中学生未満の方の入場はご遠慮いただいております。予めご了承ください。

※都合により内容が変更になる場合がございます。



みそか寄席



平成3年6月から始まった「みそか寄席」は、毎月末日のみそかに合わせて「すし久」にて開催している落語会。約35年間公演し、地元松阪出身 上方落語の桂文我さんを中心に、中堅・若手の噺家が多数出演しています。

本格的な古典落語や奇想天外な新作落語、ときには珍珍も飛び出し、会場は明るい笑い声で包まれます。

これまでの特別興行では、人間国宝桂米朝師をはじめ、三代目桂春團治師・五代目桂文枝師・桂枝雀師にご出演いただきました。

会場の「すし久」は、本格木造建築で、古き良き時代の寄席情緒たっぷりの中でお楽しみ頂けます。



林家正雀 はやしや しょうじやく

昭和26年12月生まれ、山梨県出身。昭和49年八代目林家正蔵に入門。昭和53年二ツ目昇進「正雀」と改名。昭和58年真打昇進

【趣味】歌舞伎鑑賞
八代目林家正蔵のお家芸を継承し、芝居噺・怪談噺の第一人者。



桂文我 かつら ぶんが

昭和35年8月15日生まれ、三重県松阪市出身。昭和54年3月、桂枝雀に入門。桂雀司を名乗る。平成7年2月、四代目桂文我を襲名。

【落語活動】
現在、年間300回程の落語の高座をつとめる。大阪・東京・横浜・名古屋・京都・岡山・徳島をはじめ、各地で「桂文我独演会」「桂文我の会」を開催。また、子ども向きの落語会の「おやこ寄席」も各地で開催。

【その他の活動】
みえの国観光大使、松阪市ブランド大使。兵庫県揖保郡太子町ふるさと親善大使。平成25年4月1日～相愛大学客員教授「上方落語論」講義を受け持つ。令和3年～、東海テレビ番組審議委員。令和6年～、佛教大学オーブニングラーニングセンター講師。



桂文五郎 かつら ぶんごろう

昭和59年9月8日生まれ、大阪府堺市出身。
平成25年1月1日「桂文珍」
趣味：散歩、城めぐり、ツーリング
特技：オートバイ整備

みそか寄席四百回記念公演グッズ販売中!

みそか寄席は、令和7年7月をもちまして400回公演を達成いたしました。400回を記念して、ここでしか手に入らないオリジナルグッズを販売中。



おかげ横丁について

おかげ横丁は、入口にある大きな常夜燈が目印の50余りのお店が軒を連ねるひとつの町です。

第61回神宮式年遷宮の年、1993年(平成5年)7月16日に、伊勢神宮内宮の鳥居前「おはらい町」の中ほどにできました。

季節ごとの催し、伊勢路の建物の意匠と風景、こだわって選び抜いた特産品や伊勢土産、郷土料理、紙芝居や太鼓の演奏など、訪れる人に楽しんで頂いております。

